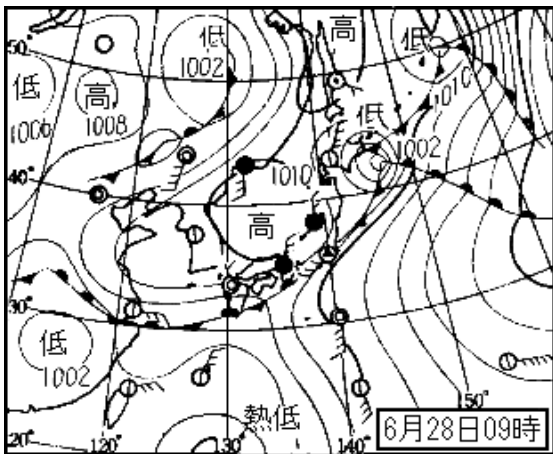


梅雨の季節は約 1 か月から 2 か月にわたります。この期間に降る雨の量は、平均すると西日本では 600～800mm にも達しますが、東日本では 300mm 位で、日本列島の東西では約 2～3 倍の違いがみられます。

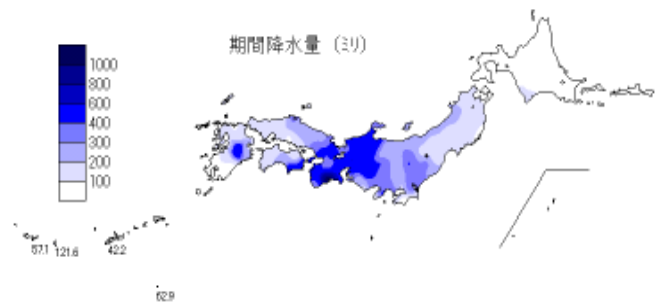
昭和 36 年（1961 年）の梅雨前線の活動は、台風などの影響もあって各地で活発となり、北海道を除いた全国各地で大雨による被害が多発しました。

日立でも 6 月 27 日から 29 日にかけての 3 日間の雨量が 340mm に達する豪雨に見舞われ、がけ崩れにより 7 名の尊い命が失われるなど大きな被害が発生しました。この一連の豪雨は「昭和 36 年梅雨前線豪雨」と呼ばれています。

梅雨前線帯に沿って起こる豪雨は、前線上に均一に起こるのではなく、数 10～100km 程度のスケールで発生し、2～3 時間程度継続する強い雨が、数時間間隔で何回も繰り返され、時には日雨量が数百 mm にも達することもあり、このように狭い地域に集中的に降る雨を「^{しゅうちゅうこうう}集中豪雨」と呼んでいます。



梅雨期の天気図（昭和 36 年 6 月 28 日 09 時）



「昭和 36 年梅雨前線豪雨」の期間降水量
（6 月 24 日～7 月 5 日）気象庁資料より

さて、7 月 7 日は二十四節気の「小暑」。この日から「立秋」（8 月 8 日）の前日までが「暑中」となり、暑中見舞いの葉書が親しい人から届くようになります。

長期予報によると、今年の 7 月は平年同様に曇りや雨の日が多く、降水量は平年並、気温は平年並か高いと予想されています。

日立の気候表

※1971～2000 年の平年値

	6 月	7 月	8 月
平均気温℃	19.1	22.9	24.8
降水量 mm	169.4	142.4	148.2
日照時間	114.7	136.2	181.3

日立市の天気予報はホームページで毎日発表しています。

<http://www.jsdi.or.jp/~hctenso>

電話での問合せは

直通電話 22-5520

IP 電話 0505528-5066 へ